



公開シンポジウム

異なる身体の「あいだ」にある舞踊

日時

2025年 12月 7日 (日)
13:30~16:30

場所

和光大学 E101教室

(小田急線「鶴川」駅より徒歩15分)



手話通訳
あり

持続可能な世界の実現に向けて、私たちは、今、多様性を認識し、インクルーシブな社会へと変わっていくことを強く求められている。様々な違いを乗り越えるべく、舞踊の「越境」する力には、今後益々期待が集まるであろう…。しかし、本シンポジウムでは、越えるべき「境界」や壊すべき「壁」に対峙する姿勢を一旦緩めて、視点を変え、私たちの「あいだ」に生じるダンス的な事象を考えることで、共生社会実現に役立つ知見を深めたい。

参加者と共に、私たちの誰もがそれぞれに「異なる身体」という存在であることへの気づきを確認なものにして、その身体の「あいだ」で、舞踊は今後どのように生まれ、また何を成していくのか、未来に向けて語り合う場をつくりたい。

予約申込

専用フォームより
お申し込みください

参加費
無料
予約優先



※第77回舞踊学会大会において、本シンポジウム以外のプログラムに参加される場合は、別途申込が必要です。詳細は、舞踊学会のHPをご確認ください。

→ <https://danceresearch.jp/index.htm>

●シンポジスト

●森田 かずよ

(Performance For All People-CONVEY-主宰)

●南雲 麻衣 (ダンサー、アーティスト、俳優)

●DAIKI (SOCIAL WORKEERZ代表、ダンサー、俳優)

●細馬 宏通 (早稲田大学 教授)

●コメンテーター 最首 悟 (和光大学 名誉教授)

シンポジスト・コメンテーターの紹介は裏面

●司会 大橋 さつき (和光大学 教授)

富田 大介 (明治学院大学 教授)

●お問い合わせ●

✉ asobi@wako.ac.jp (和光大学大橋研究室)



シンポジスト・コメンテーター紹介

● **森田 かずよ** : 「Performance For All People-CONVEY-」主宰。1977 年生まれ、大阪府出身。二分脊椎症・側弯症を持って生まれ、18 歳より舞台表現の世界へ。義足のダンサー・女優として活動。東京 2020 パラリンピック開会式ソロダンサー。NHKドラマ「パーセント」に出演。人と人のあいだにある差異をあたらしい価値観として捉える、をテーマに創作をおこなう。近年は、多様な身体の人たちと共にダンスを創作、ワークショップなども行う。ダンスカンパニーMi-Mi-Bi所属。2024 年 4 月より、大阪大学大学院人文学研究科人文学専攻(臨床哲学)博士後期課程に在籍中。

● **南雲 麻衣** : ダンサー、アーティスト、俳優。1989 年、神奈川県生まれ。和光大学現代人間学部卒。3 歳半で失聴、7 歳で人工内耳埋め込み手術を受ける。音声日本語を母語として育ち、大学で手話に出会う。文化施設の運営とワークショップなどの企画の仕事の傍ら、手話を活かしたパフォーマンスを軸に、ダンサー、アーティストとして活動を重ねてきた。近年は、音声言語と視覚言語を用いた複数言語の「ゆらぎ」をテーマにし、当事者自身が持つ身体感覚を媒介に、作品を生み出している。2023 年12 月放送のNHK ドrama「デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士」に出演し注目を集めた。

● **DAIKI** (西村大樹) : ダンサー、俳優。1994年、神奈川県生まれ。和光大学現代人間学部卒。「ダンスで福祉をデザインする」というコンセプトのダンスチーム SOCIAL WORKEERZ 二代目代表。日本の軟骨無形成症患者として初めて保健体育の教員免許を取得する。NHK (Eテレ) 『バリバラ』『Eダンスアカデミー』などに出演し、さまざまなイベントやメディアなどを通じて、障がいの有無に関係なく誰もがダンスを楽しめる場づくりを目指して活動をしている。2024年NHK大河ドラマ『光る君へ』安倍晴明の従者、須麻流(すまる)役で、俳優にも挑戦。

● **細馬 宏通** : 1960年生まれ。行動学者。京都大学理学研究科博士後期課程修了(博士:動物学)。現在、早稲田大学文学学術院文化構想学部教授。日常会話、伝統芸能の伝承場面、介護場面からフィクションまで幅広い対象において、人と人が空間や時間をどうとらえ、どのように相互に思考するかを、発語とジェスチャーの関係から探っている。著書に『うたのしくみ 増補完全版』(ぴあ)、『いだてん』『今日の「あまちゃん」から』(河出書房新社)、『二つの「この世界の片隅に」』『絵はがきの時代 増補新版』『浅草十二階 増補新版』(青土社)、『介護するからだ』(医学書院)、『ミッキーはなぜ口笛を吹くのか』(新潮社)など。バンド「かえる目」では作詞作曲とボーカルを担当。

● **最首 悟** : 和光大学名誉教授。1936年福島県生まれ。生物学者、社会学者、思想家。東京大学教養学部助手を27年間務め、1977年より第一次不知火海総合学術調査団(水俣病に関する実地調査研究)に参加、第二次調査団長を務めた。また障害者の地域作業所「カブカブ」の設立・運営に携わる。重い障害のある娘と暮らす日々から生まれた『星子が居る』(世織書房)や相模原市津久井やまゆり園事件の死刑囚へ送り続けた60通の手紙をもとにした『いのちの言の葉』(春秋社)、『能力で人を分けなくなる日 いのちと価値のあいだ』(創元社)他著書多数。